

- ★少子化が進む中、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する。
- ★子どもの自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値を創出する。
- ・まずは、休日の部活動から段階的に地域へ移行する。平日の部活動は、環境整備状況をみながら無理なく地域へ移行する。

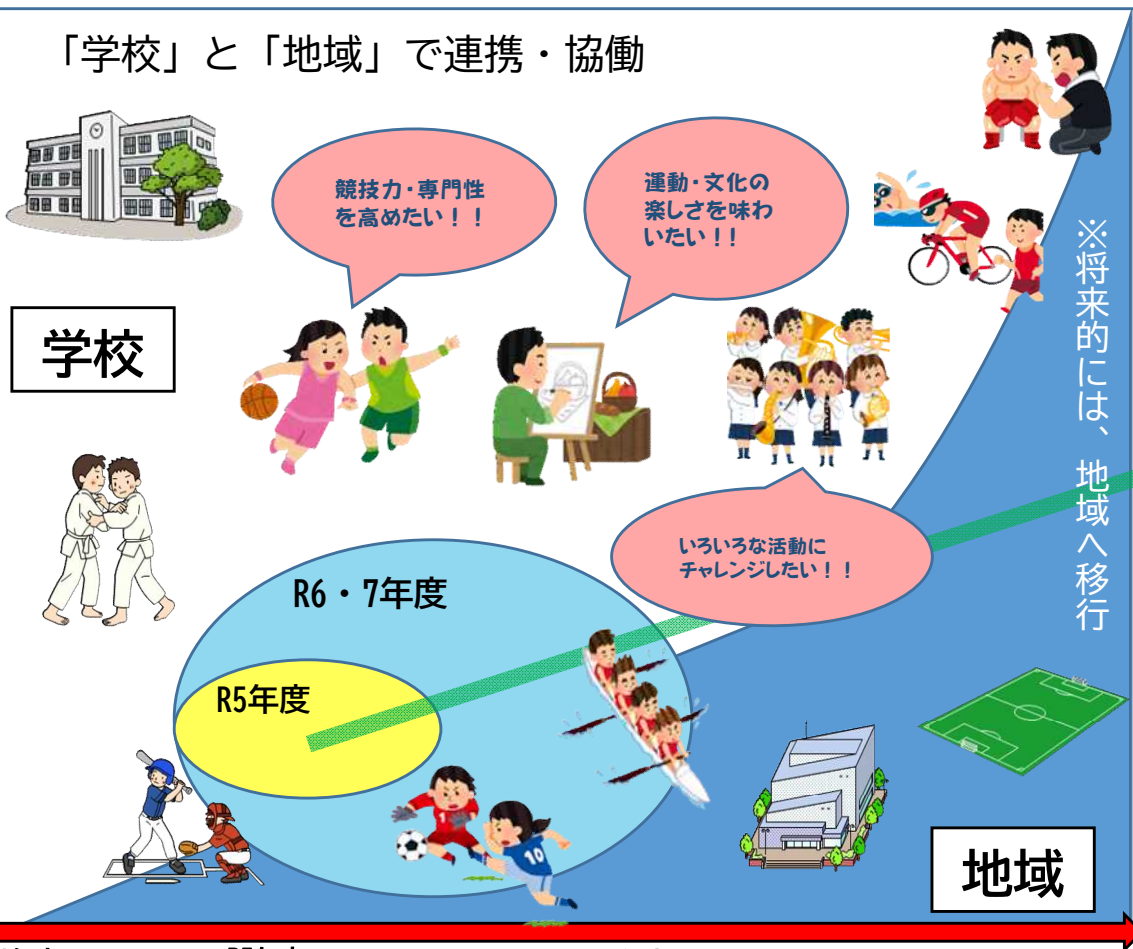


(R4年12月【スポーツ庁・文化庁】 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインより)

## 地域移行ビジョン①（長期）

- 受け皿が整ったところから、可能な限り早期の部活動の地域移行実現を目指す。

### 「学校」と「地域」で連携・協働



学校

地域

R6・7年度

R5年度

R4年度

R5年度

R6・7年度

- ・在り方協議会の立ち上げ
- ・各競技団体への説明
- ・モデル競技選定

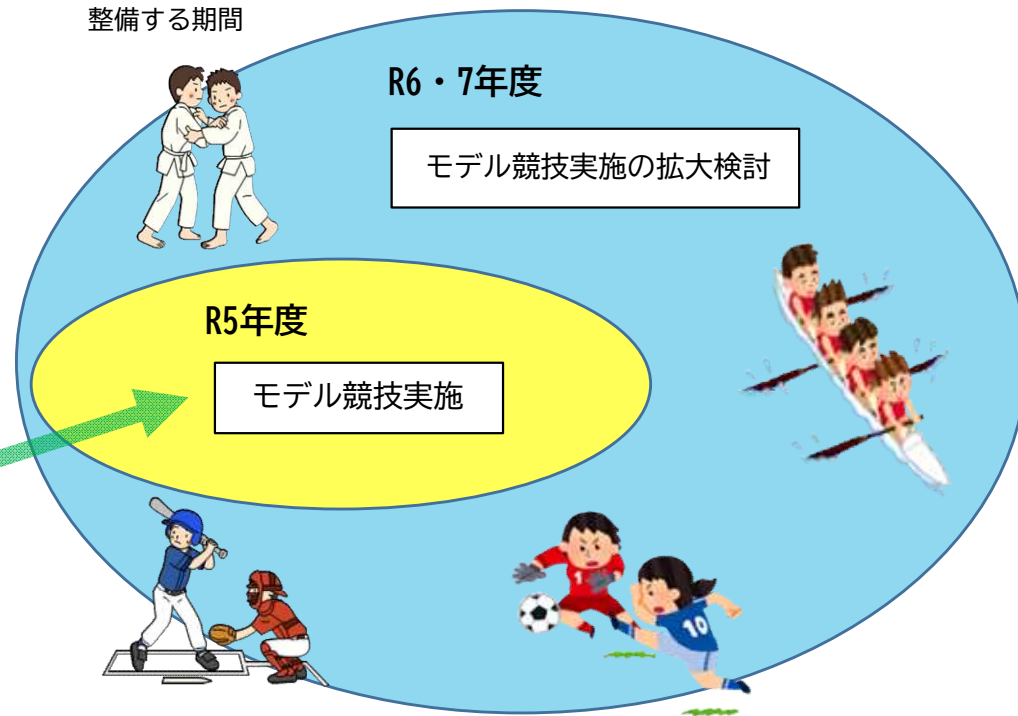
- ・在り方協議会で検討
- ・各競技団体との協議
- ・モデル競技の実施
- ・成果や課題、進捗状況の検証

- ・在り方協議会で検討
- ・各競技団体との協議
- ・モデル競技の実施、拡大検討
- ・成果や課題、進捗状況の検証

R8年度以降  
※検証を進めた上で、拡大  
※平日の部活動も検討

## 地域移行ビジョン②（短期）

- R5～7年度「改革推進期間」  
米子市の学校・地域の実情に合ったスポーツ・文化活動の環境を段階的に整備する期間



R6・7年度

モデル競技実施の拡大検討

R5年度

モデル競技実施

### [移行に向けて]

- ・スポーツ団体等、受け皿の確保（周知及び理解促進）
- ・指導者の人材確保（希望する教職員の兼職兼業を含む）や研修実施
- ・指導者への報酬
- ・活動場所の確保
- ・部費（会費）や保険等の負担軽減

